

3. セミナー・連携協力会議の開催

4. 国内外連携協力会議の実施 ～会議概要

開催時期	平成28年2月20日(土) 10:00～17:30		
開催場所	東京青果株式会社 本社会議室(大田市場事務棟 603会議室)		
実施目的	卸売市場を活用した国産農産物等の輸出や輸出先国の同市場を中心とする流通システムの構築等について意見交換を実施し、国際的な卸売市場間連携についての合意形成を図ること		
セミナー運営者	野村アグリプランニング & アドバイザリー株式会社(NAPA)		
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベトナム(1社・5名)、タイ(2社・8名)、シンガポール(4社・5名)の卸売市場等関係者</li> <li>・日本の卸売市場関係者(13社・13名)</li> </ul>		
オブザーバー等	タイ王国大使館農務担当官事務所(3名)、日本の卸売市場関係者(6名)、事務局(NAPA5名)		
会議スケジュール	10:00	ベトナムとの連携協力会議の開催 (～12:00)	
	12:00	昼食(大田市場事務棟7Fゲストルーム)	
	13:00	タイとの連携協力会議の開催 (～15:00)	
	15:00	休憩	
	15:30	シンガポールとの連携協力会議の開催 (～17:30)	
各国との会議 における議事 (120分/国)	5分	会議開催の挨拶	NAPA
	5分	会議議事の説明	NAPA
	10分	連携案のたたき台の説明	NAPA
	80分	フリーディスカッション	ファシリテーターはNAPA
	20分	連携内容の取りまとめ・共有、今後の進め方の確認	

3. セミナー・連携協力会議の開催

4. 国内外連携協力会議の実施 ～各国との合意内容

国	ベトナム	タイ	シンガポール
合意内容	<p>今後、日本の卸売市場関係者とベトナムA社グループで、以下3点の検討を進めていくことで合意。</p> <p>①卸売市場間の直接取引 A社がベトナム側のワンストップ窓口になり、輸入業務も担う。また、委託取引だけでなく条件次第で買取も行う。</p> <p>②技術支援 ・収穫から出荷行程までの品質を保つ技術支援 ・「A卸売市場」が今後新設する棟での各種技術支援</p> <p>③卸売市場内での出店 「A卸売市場」内に日本産食材等を専門に取り扱うブースを出店</p>	<p>今後、日本とタイの卸売市場関係者間で、2国間の「検討委員会(ステアリング・コミティ)」を設けて、以下3点の検討を進めていくことで合意。</p> <p>①卸売市場内への日本食材等の販売 現地「A卸売市場」と「B卸売市場」に出入りしているバイヤー(トラック25万台/日)や店舗業者(約4,000店)に向けた日本食材の販売</p> <p>②卸売市場間の直接取引 現地2社がタイ側の直接の輸入・購入者となり、日本の卸売市場側と直接取引を実施。日本側も個々でなく、ワンストップ窓口をつくり上げる。</p> <p>③技術連携 現地卸売市場運営会社が新設する流通棟における各種技術支援</p>	<p>今後、日本とシンガポールの各卸売市場関係者等にて、以下、3点の検討を個々で進めていくことで“大筋”合意。</p> <p>①技術支援 K社が運営する鮮魚卸売市場Bの建て替えに向けた、日本の卸売市場のセリ取引をはじめとする各種技術支援</p> <p>②卸売市場内での出店 青果卸売市場A内に日本産食材等を専門に取り扱うブースを出店</p> <p>③小売市場内での出店 フードマーケットC内に日本産食材等を専門に取り扱うブースを出店。その場で加工・調理するなど、価格だけに依存しない日本食材の新たな価値を提供。</p>